

講演会開催 定時総会

令和8年(2026)

8月5日(水)

開会13:00(開場12:00)

PROGRAM

13:05 講演

「幕府天文方の誕生から最期まで 暦を作り続けた人たち」

14:15 トークセッション

司会 暦文協理事長、国立民族学博物館名誉教授 中牧 弘允氏
吹田市立博物館特別館長

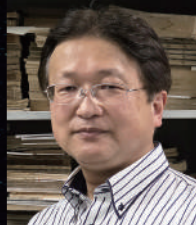
パネリスト 電気通信大学大学院 教授 佐藤 賢一氏
東京大学大学院総合文化研究科 博士後期課程 小田島 梨乃氏
国立天文台 天文情報センター 暦計算室長 片山 真人氏

15:00 広報

15:30 総会 第16回定時総会(議決は会員に限る)

16:30 懇親会 会員のみなさん

講演・講師紹介



電気通信大学大学院教授

佐藤 賢一氏

Sato Kenichi

電気通信大学大学院、教授。1968年宮城県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)。専門は近世日本数理科学史、特に和算史。編著書に『近世日本数学史』(東京大学出版会)、『関孝和全集』(岩波書店)、『幕府天文方の研究』(思文閣出版)など。

会場

東京大学
弥生講堂 一条ホール

(東京都文京区弥生1-1-1)

【地下鉄】

東京メトロ 南北線「東大前」駅下車 徒歩1分
東京メトロ 千代田線「根津」駅下車 徒歩8分

要申込

講演会入場無料

先着順(150名)

講演会はどなたさまでも入場可能です。
事務局までメール(info@rekibunkyo.or.jp)
または電話(03-5816-5066)で申し込みください。

同時リモート配信

当日は、インターネットを用い同時配信を行います。
リモート聴講は後日、接続情報をお知らせします。
暦文協事務局HP(<https://www.rekibunkyo.or.jp>)

幕府天文方の誕生から最期まで 暦を作り続けた人たち

講演

2020年以降、幕府天文方の最末期に関する新しい史実が幾つか判明しました。現在の太陽暦が施行される直前の世相はどんなものだったのか。幕府の天文台組織として、180年近く暦を作り続けた天文方の誕生から終焉まで、その軌跡をたどります。

国立国会図書館デジタルコレクションより 保井春海[著]『天文分野之圖』を元に再構成

「12月3日はカレンダーの日」

2026年12月3日(木) 明治神宮にて『新暦奉告参拝』を開催いたします。
詳細は事務局までお問い合わせください。

主催



一般社団法人
日本カレンダー暦文化振興協会
Japan Association for Calendars and Culture Promotion

後援

(一社)日本印刷産業連合会・全国団扇扇子カレンダー協議会
全国カレンダー出版協同組合連合会(JCAL)

お問合せ

〒110-0016 東京都台東区台東1-27-11 佐藤第二ビル204号
TEL:03-5816-5066 FAX:03-5816-5036

